



はなほ丸

令和5年3月発行

足立区立花保中学校開かれた学校づくり協議会



かひけはし お茶の間 開室!



「居場所づくり」「ほっとくつろげるリビングのような空間」



お茶の間開設

副校長 中嶋 則義

令和3年9月に、スタートしたASK自習教室が軌道に乗ってきたことを受けて、令和4年度「ななめの関係」(注：ボランティア大学生と中学生の上からでも対等でもない関係を表現したもの)による学習支援に加えて、「生徒が悩みなどをボランティア大学生に相談できる場所・スペースを新たに作る」ということで計画が始まりました。コンピュータ準備室をその場所に選定し、古い教材等の片づけを技術科教員、用務業務員にしてもらいました。

次に「生徒が落ち着いて話ができる部屋」というコンセプトで、模様替えに着手しました。カタリバの活動ルームを参考にしたり、ASKに参加している生徒や開かれた学校づくり協議会委員の意見を取り入れました。

様々な意見を集約しながら、7月に塗装↓カーペット敷き↓家具の組み立て・搬入の順で何とか8月10日にオープンすることができました。

現在の使用用途は、ASK開設の水曜日には、①生徒が単にソファでリラクセスする。②生徒がボランティア大学生と話しをする。③自習の合間の休憩時間に、生徒がカードゲーム等をする。木曜日は、①開かれた学校づくり協議会委員の方々が、畑や花壇の手入れに来た時の休憩室として使う。②お茶の間座談会を10月より月1回

のペースで開催。③開かれた学校づくり協議会役員会の開催です。
令和5年度に向けて、新しい用途を現在検討しています。

リフォーム作業の感想

1年 田中 遙一

ペンキを塗るとき、塗る場所以外の所につかないように、天井や壁にテープを貼る作業をしました。長い時間を向いたまま腕も上げ続けなければならず、とても大変でした。

作業中は自分の手元と視界に入る場所しか見えていないので、全てが終わる部屋をぐるりと見渡してみると、思っていたよりもずっと綺麗で大きな感動と達成感を感じました。

ochanomaを使用して感じた感想は、自分が使用してもそうですが使用している人を見ると、皆リラックスしているし、過ごしやすいうえに雰囲気を作られていて、手伝うことができて良かったと思いました。



あいさつ運動

PTA会長 青地 亨

挨拶は、人間関係の基本中の基本です。しかし、大人になっても挨拶が出来ない人が多いのも事実のようです。

花保中学校では、まわりの大人を巻き込み挨拶運動を通して、みんなで挨拶を習慣化する取り組みを行っています。簡単なようで、なかなか奥の深いものだと思います。生徒の皆さんも始めた時と今では気持ちの変化があったのではないだろうか。

挨拶運動に参加して、皆さんの笑顔が多くなってきたことを実感しています。



一年間を振り返って

校長 村田 雅也

「開かれた学校づくり協議会型コミュニティ・スクール」として二年目を迎えました。

花保未来ラボ(全校生徒対象の地域の職業人による講話やASK(アスク)リビングルーム兼学校地域連携室の開室、ボランティア部員への野菜栽培指導・助言など)昨年度の活動に加え新たな活動も実施していただきました。

生徒のために何かできないか、地域の目線で学校教育に携わっていただき、感謝しております。特色ある学校教育が実践できていると実感しております。

これからも学校と地域が一体となって地域のことも育て、地域に根差した花保中学校を作り上げていきます。



令和4年度活動報告

以下、花保中学校運営委員会・運営委員会
開かれた学校づくり協議会・協議会と記載

〈4月〉
・挨拶運動
・運営委員会、協議会打ち合わせ

〈5月〉
・夏野菜苗植え付け

〈6月〉
・挨拶運動 ・協議会

〈7月〉
・挨拶運動 ・運営委員会

〈8月〉
・ochanoma 完成

〈9月〉
・挨拶運動
・運営委員会

・冬野菜植え付け
・花保未来ラボ

〈10月〉
・挨拶運動 ・協議会

〈11月〉
・挨拶運動

・花保フェスタ

〈12月〉
・挨拶運動
・運営委員会
・協議会

〈1月〉
・挨拶運動 ・PU面接練習会

〈2月〉
・挨拶運動 ・運営委員会
・協議会
・広報誌「かけはし」発行

一年を終えて

開かれた学校づくり協議会

会長 中里 史朗

コロナ禍も付き合い方を考えて、できることを楽しんでやるを motto に活動が続けられました。

今年は、誰もが集える居場所づくり「ochanoma」を開設することができました。これまた一つ花保中学校に光が点りました。

「花保農園」では、夏野菜・冬野菜を生徒と共に実りの楽しさを体験することもできました。生徒たちと共に喜び合える一年の活動でした。

コミュニティ・スクールとしての二年

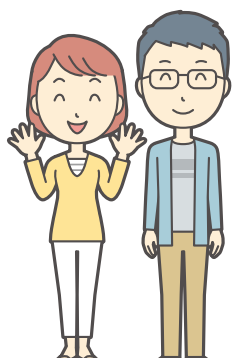
花保中学校 運営委員会

会長 大山 光子

「花保らしく、自分らしく」を忘れずに教職員の方々と共に淡々と土台づくりをしてきました。

多感な中学生と大人の向き合う関係性の少しの溝を埋めることが、この2年間のCSの効果だった

編集後記



のではないかと感じています。校内における多様な大人の存在は、必要なことだと私は思います。
2年の任期中のご協力ありがとうございました。

コロナ禍にありながらも、学校・保護者・地域三者の「連携」という「力」が光となって花保中学校を照らしています。数々の事業を、生徒も加えて四者が楽しんでいる姿にスポットを当てて、皆さんにお届けできていたら幸いです。

最後になりますが、広報誌「かけはし」の作成にあたりたくさんの方にご協力頂き感謝申し上げます。

広報部 同
発行責任者 中里 史朗



パワーアップ面接練習会

教員 泉 明美

パワーアップ面接練習会もコロナ禍での中止を挟んで4回目となりました。昨年度からは作品展と並行して、土曜授業日の午前中に実施しています。

3年生は、11月から面接練習を始め、今回が本番直前の最後の面接練習となりました。地域の方々に面接官になっていただくことで、本番同様の緊張感の中で実施できました。たくさんのアドバイスを褒めていただいた言葉を胸に、入試本番で自信をもってがんばってくれると信じています。面接官になっていただいた地域の皆様、ありがとうございました。